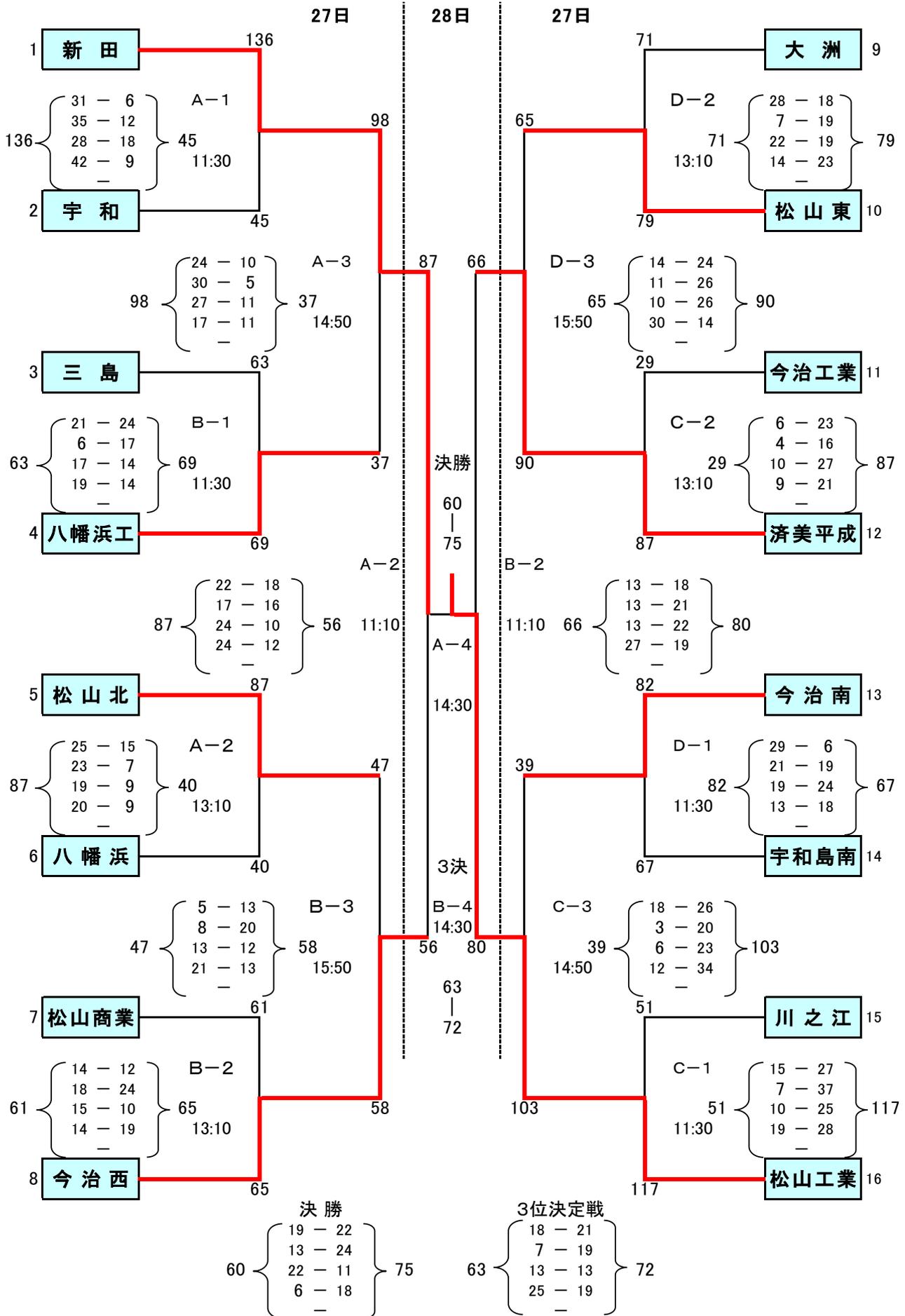


平成29年度 愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

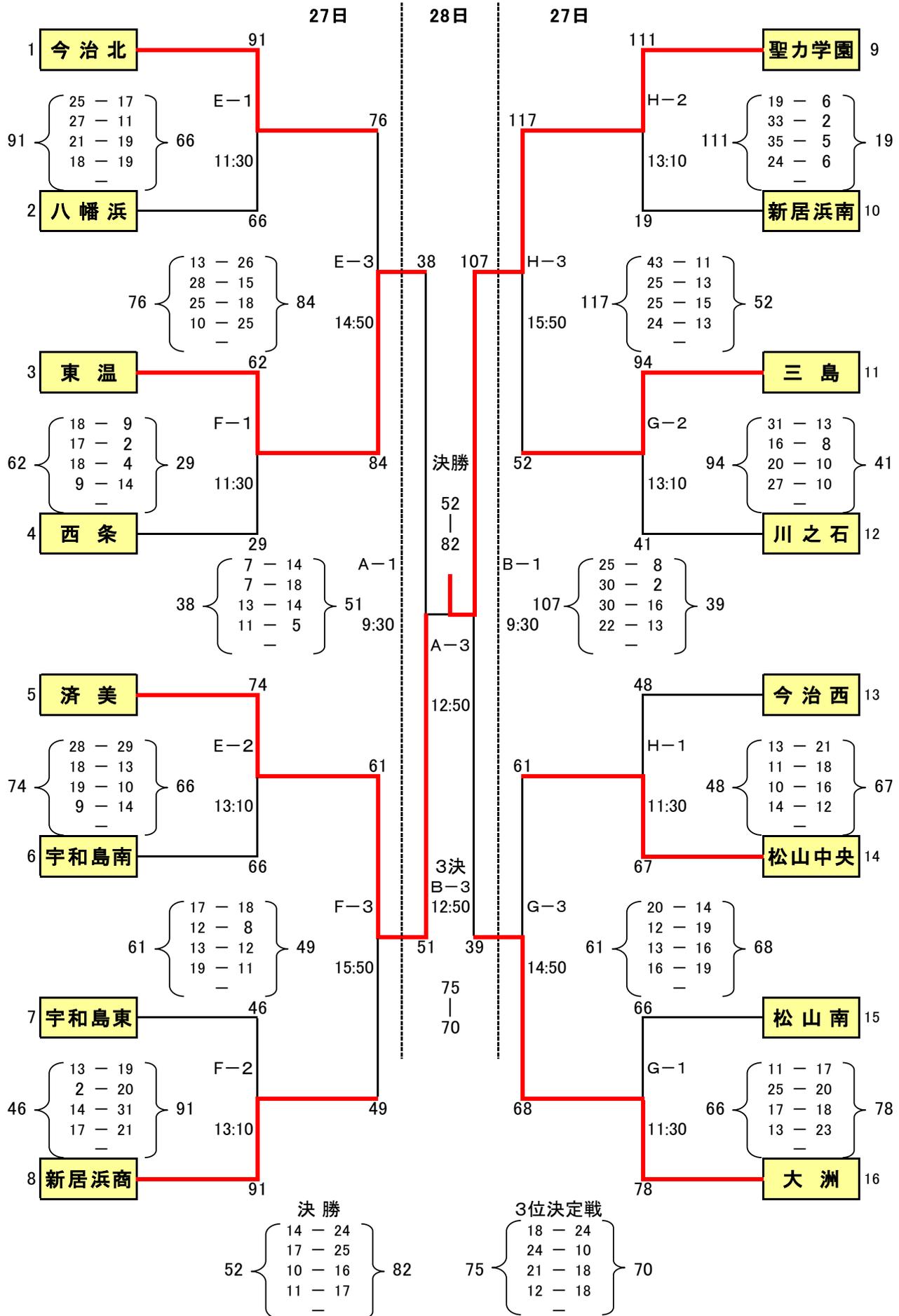
【男子】



今治市営中央体育館……………A / B
 今治工業高校体育館……………C / D

平成29年度 愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

【女子】



今治市営中央体育館……………A / B
 大西体育館……………E / F
 今治西高校体育館……………G / H

平成29年度 愛媛県高等学校バスケットボール新人大会 [男子]

期日：平成30年1月27日(土)・28日(日)

会場：今治市営中央体育館(A/B)・今治工業高校体育館(C/D)

No	Aチーム	得点				Bチーム	ランク	No	Aチーム	得点				Bチーム		
A1	新田 高校	136	31 35 28 42	— — — —	6 12 18 9	45	宇和 高校	1回戦	B1	三島 高校	63	21 6 17 19	— — — —	24 17 14 14	69	八幡浜工 高校
A2	松山北 高校	87	25 23 19 20	— — — —	15 7 9 9	40	八幡浜 高校	1回戦	B2	松山商業 高校	61	14 18 15 14	— — — —	12 24 10 19	65	今治西 高校
C1	川之江 高校	51	15 7 10 19	— — — —	27 37 25 28	117	松山工業 高校	1回戦	D1	今治南 高校	82	29 21 19 13	— — — —	6 19 24 18	67	宇和島南 中等教育
C2	今治工業 高校	29	6 4 10 9	— — — —	23 16 27 21	87	済美平成 高校	1回戦	D2	大洲 高校	71	28 7 22 14	— — — —	18 19 19 23	79	松山東 高校
A3	新田 高校	98	24 30 27 17	— — — —	10 5 11 11	37	八幡浜工 高校	2回戦	B3	松山北 高校	47	5 8 13 21	— — — —	13 20 12 13	58	今治西 高校
C3	今治南 高校	39	18 3 6 12	— — — —	26 20 23 34	103	松山工業 高校	2回戦	D3	松山東 高校	65	14 11 10 30	— — — —	24 26 26 14	90	済美平成 高校
A2	新田 高校	87	22 17 24 24	— — — —	18 16 10 12	56	今治西 高校	準決勝	B2	済美平成 高校	66	13 13 13 27	— — — —	18 21 22 19	80	松山工業 高校
A4	新田 高校	60	19 13 22 6	— — — —	22 24 11 18	75	松山工業 高校	決勝 3位 決定戦	B4	今治西 高校	63	18 7 13 25	— — — —	21 19 13 19	72	済美平成 高校

- ・ 松山工業高校 8回目の優勝(2年ぶり)
- ・ 松山工業高校、新田高校が2/10(土)、11日(日)に高知県で行われる四国新人大会に出場

平成29年度 愛媛県高等学校バスケットボール新人大会 [女子]

期日：平成30年1月27日(土)・28日(日)

会場：今治市営中央体育館(A/B)・大西体育館(E/F)・今治西高校体育館(G/H)

No	Aチーム	得点				Bチーム	ランク	No	Aチーム	得点				Bチーム		
E1	今治北 高校	91	25 27 21 18	— — — —	17 11 19 19	66	八幡浜 高校	1回戦	F1	東温 高校	62	18 17 18 9	— — — —	9 2 4 14	29	西条 高校
E2	済美 高校	74	28 18 19 9	— — — —	29 13 10 14	66	宇和島南 中等教育	1回戦	F2	宇和島東 高校	46	13 2 14 17	— — — —	19 20 31 21	91	新居浜商 高校
G1	松山南 高校	66	11 25 17 13	— — — —	17 20 18 23	78	大洲 高校	1回戦	H1	今治西 高校	48	13 11 10 14	— — — —	21 18 16 12	67	松山中央 高校
G2	三島 高校	94	31 16 20 27	— — — —	13 8 10 10	41	川之石 高校	1回戦	H2	聖力学園 高校	111	19 33 35 24	— — — —	6 2 5 6	19	新居浜南 高校
E3	今治北 高校	76	13 28 25 10	— — — —	26 15 18 25	84	東温 高校	2回戦	F3	済美 高校	61	17 12 13 19	— — — —	18 8 12 11	49	新居浜商 高校
G3	松山中央 高校	61	20 12 13 16	— — — —	14 19 16 19	68	大洲 高校	2回戦	H3	聖力学園 高校	117	43 25 25 24	— — — —	11 13 15 13	52	三島 高校
A1	東温 高校	38	7 7 13 11	— — — —	14 18 14 5	51	済美 高校	準決勝	B1	聖力学園 高校	107	25 30 30 22	— — — —	8 2 16 13	39	大洲 高校
A3	済美 高校	52	14 17 10 11	— — — —	24 25 16 17	82	聖力学園 高校	決勝 3位 決定戦	B3	東温 高校	75	18 24 21 12	— — — —	24 10 18 18	70	大洲 高校

- ・ 聖カタリナ学園高校 23回目の優勝(17年連続)
- ・ 聖カタリナ学園高校、済美高校が2/10(土)、11日(日)に高知県で行われる四国新人大会に出場

大会名称: 平成29年度
愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

開催場所: 今治市営中央体育館 Bコート

試合区分: No. 26 女子 準決勝

期 日: 2018(H30)年1月28日(日)

主審: 小笠原 淳

開始時間: 09:30

副審: 坂田 一也

終了時間: 11:00

聖カタリナ学園 (中予)	○ 107	25	—	8	● 39	大洲 (南予)
		30	—	2		
		30	—	16		
		22	—	13		
		—	—	—		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	梅木 千夏	21	1	9	0	2
5	*	鈴置 彩夏	8	0	4	0	0
6	*	富永 紗代	4	0	2	0	1
7		山地 一穂	2	0	1	0	1
8		徳原さくら	3	1	0	0	0
9		森下 遥奈	8	0	4	0	2
10	*	小柳 亜結	6	0	3	0	1
11		谷 月音	5	0	1	3	0
12		浅見 妹	6	0	3	0	1
13		岩崎 鈴奈	15	3	3	0	0
14		早川 涼葉	8	2	1	0	2
15		渡邊 帆南	4	0	2	0	0
16		數田 若那	1	0	0	1	1
17	*	池松 美波	10	2	2	0	0
18		松岡 歩菜	6	0	3	0	3
HC		後藤 良太 / TEAM					—
		合計	107	9	38	4	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	原田 愛結	0	0	0	0	1
5	*	河野真菜佳	10	0	4	2	0
6		黒田 響	4	0	1	2	0
7	*	森岡佳菜恵	1	0	0	1	1
8		田中 愛海	—	—	—	—	—
9		石岡 朗佳	—	—	—	—	—
10	*	宇田 莉子	8	0	3	2	2
11	*	大政 汐里	13	3	2	0	0
12		袖岡 美悠	2	0	1	0	1
13		山口 翔蓮	0	0	0	0	0
14		森岡 莉子	1	0	0	1	1
15		岡田 菜月	0	0	0	0	0
16		谷宮 麻緒	0	0	0	0	0
17		富永 里奈	—	—	—	—	—
HC		濱田 直義 / TEAM					—
		合計	39	3	11	8	6

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤聖カ学園は厳しいディフェンスからの速攻で得点を重ねる。開始4分、14-2となったところで大洲タイムアウト。その後、大洲はゾーンディフェンスに切り替えるも聖カ学園の流れは止まらず25-8で第1ピリオド終了。

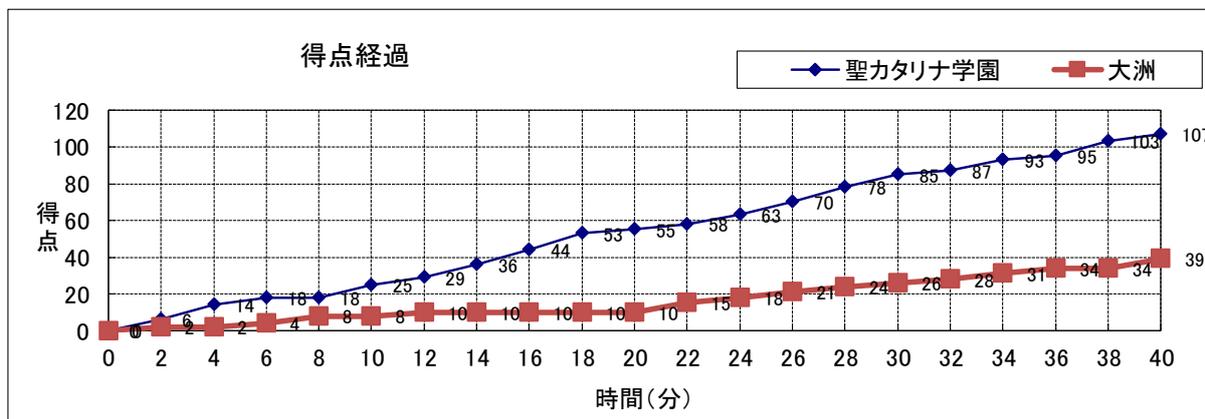
第2ピリオド、聖カ学園の勢いは止まらない。厳しいディフェンスから得点を重ねていく。大洲はたまたまタイムアウトを取るも流れは変わらず、55-10で第2ピリオドを終了した。

第3ピリオド、大洲は3Pやバスケットカウントなどで点差を縮めようとするも、聖カ学園の外角シュートが高確率で決まり、主導権を渡さない。第3ピリオドが終わって83-26と聖カ学園リード。

第4ピリオド、大洲は果敢にシュートを狙うが、なかなか決まらない。聖カ学園は最後までリズムを崩すことなく終始リードする。結局、107-39で聖カ学園が決勝戦へ駒を進めた。最後まで相手に向かっていった大洲の健闘も称えたい。

担当者: 山内 良馬(愛媛県高体連)

愛媛県高体連



大会名称: 平成29年度
愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

開催場所: 今治市営中央体育館 Aコート

試合区分: No. 27 男子 準決勝

期 日: 2018(H30)年1月28日(日)

主審: 池田 隼人

開始時間: 11:10

副審: 永井 聖太

終了時間: 12:40

新田 (中予)	○	22	—	18	● 56 (東予)
	87	17	—	16	
		24	—	10	
		24	—	12	
		—	—	—	

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岡田 有夢	13	1	5	0	0
5		塩田龍之介	10	0	5	0	2
6	*	平岡 遥斗	11	1	4	0	3
7	*	井伊剣士郎	0	0	0	0	1
8	*	今井新ノ将	17	3	4	0	1
9		池田 晃紳	2	0	1	0	0
10		濱本 康成	0	0	0	0	0
11		村上 翔	7	1	2	0	0
12	*	上野 大翔	12	0	5	2	2
13		中川 拓人	4	0	2	0	0
14		片岡慎之介	2	0	1	0	0
15		吉田 雄登	2	0	1	0	2
16		大原 海	4	0	2	0	1
17		栗林 大貴	3	0	1	1	0
18		真鍋 歩夢	0	0	0	0	1
HC		玉井 剛 / TEAM					-
		合計	87	6	33	3	13

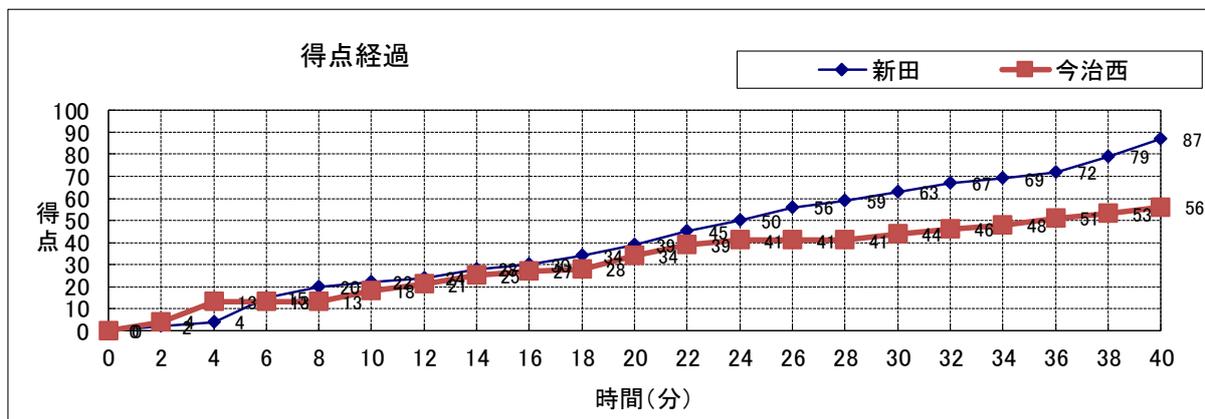
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	矢野 太一	29	4	7	3	3
5	*	西山 周太	4	1	0	1	1
6	*	森 海斗	9	0	4	1	0
7	*	高田龍之介	2	0	1	0	0
8		近藤 風磨	0	0	0	0	0
9		村上 敬汰	2	0	1	0	0
10	*	矢野 直樹	9	0	4	1	0
11		渡邊 徹平	1	0	0	1	2
12		野間 晴陽	0	0	0	0	0
13		渡部 恵	0	0	0	0	1
HC		池松 健彦 / TEAM					-
		合計	56	5	17	7	7

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、新田マンツーマン、今治西ゾーンディフェンスで開始。今治西は#4のシュートを中心に得点を重ね、開始4分4-13となる。新田はタイムアウトを取って立て直しを図り、#12のリバウンドシュートやスティールからの速攻などで逆転に成功する。22-18新田リードで終了。
 第2ピリオド、お互いなかなか得点が伸びず、我慢の時間が続く。残り1分、新田#11の3Pが決まり突き放しにかかろうとするが、終了間際今治西#4の華麗なシュートで食らいつく。39-34新田リードで終了。
 第3ピリオド、徐々に新田の外角シュートが決まりだす。#8が連続3Pを決め、5分でリードを10点差とする。今治西はタイムアウトを取るもなかなか得点することができない。新田もプレッシャーをかけ、ミスを誘う。63-44と新田がさらに点差を広げ最終ピリオドへ。
 第4ピリオド、最後まで粘る今治西がマンツーマンディフェンスに変えるも新田は落ち着いた攻めで得点を重ねていく。87-56で新田が勝利し、決勝に駒を進めた。今治西の最後まで諦めないバスケットに心から賛辞を送りたい。

担当者: 西岡 大輔 (愛媛県高体連)

愛媛県高体連



大会名称: 平成29年度
愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

開催場所: 今治市営中央体育館 Bコート

試合区分: No. 28 男子 準決勝

期 日: 2018(H30)年1月28日(日)

主審: 岩井 仁志

開始時間: 11:10

副審: 川村 貴昭

終了時間: 12:40

<p>松山工業</p> <p>(中予)</p>	<p>○</p> <p>80</p>	<p>18 — 13</p> <p>21 — 13</p> <p>22 — 13</p> <p>19 — 27</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>66</p>	<p>済美平成</p> <p>(中予)</p>
--------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	--------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	仙波 洋人	16	2	5	0	0
5	*	高橋 聖太	9	0	4	1	3
6	*	藤岡 修也	8	0	4	0	2
7	*	池内 亮太	10	1	3	1	2
8		菊池 雄太	12	2	3	0	2
9		濱田 朋樹	—	—	—	—	—
10		石川駿之介	0	0	0	0	0
11		猪田 海大	—	—	—	—	—
12		近藤 航	4	0	2	0	1
13		横田 海翔	0	0	0	0	1
14		川村 宗之	0	0	0	0	1
15	*	岡崎 蓮	9	0	4	1	1
16		永井 敦士	8	0	4	0	1
17		武内 理貴	4	0	2	0	1
18		宮岡 凌	0	0	0	0	2
HC		宮崎 智之 / TEAM					—
		合計	80	5	31	3	17

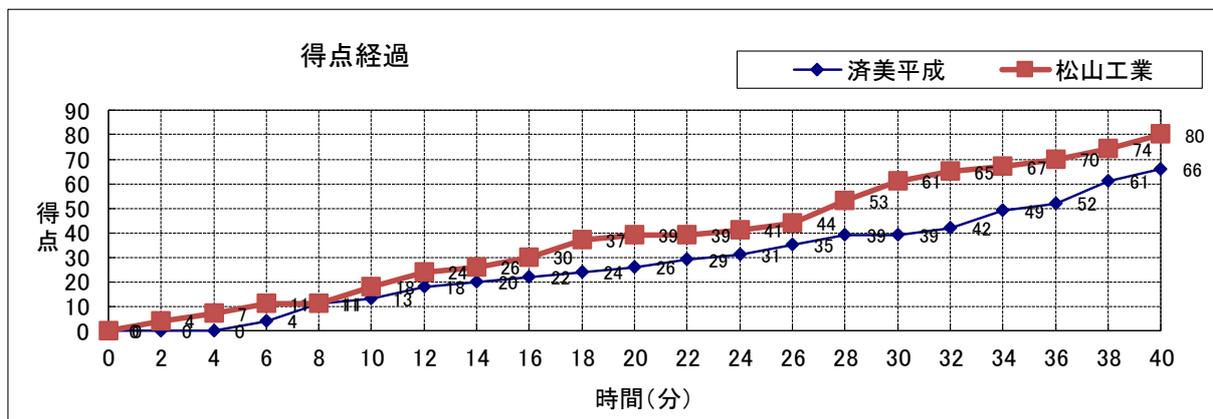
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	神野 竜基	8	2	1	0	1
5	*	坪田 啓良	5	0	2	1	3
6	*	竹田 純基	16	0	7	2	3
7	*	戸田 恭介	26	3	6	5	3
8	*	野田 唯斗	11	1	3	2	3
9		高橋 遼平	—	—	—	—	—
10		長曾我部義延	—	—	—	—	—
11		本田修太郎	—	—	—	—	—
HC		小笠原 淳 / TEAM					—
		合計	66	6	19	10	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。序盤から松山工業が激しいディフェンスからの速攻で得点を重ねていく。済美平成も#6のインサイドプレイや#7の1対1を中心に得点を重ね、両者譲らない展開が続く。13-18の松山工業リードで終了。
 第2ピリオド、松山工業が#4のミドルシュートや#6のインサイドプレイで得点を重ねるが、済美平成も#4、#7の3Pで対抗する。中盤以降、松山工業が流れをつかみ、連続得点で一気にリードを広げる。26-39の松山工業リードで前半終了。
 第3ピリオド序盤、済美平成が#4の3Pや#6のドライブインから得点を重ね、点差を詰める。しかし、松山工業も素早いパス回しからノーマークを作り、連続3Pで再びリードを広げる。その後も速攻から連続して得点を重ね、39-61の松山工業リードで終了。
 第4ピリオド、松山工業は、引き続き激しいディフェンスからの速攻で得点を重ねていく。済美平成も#7を中心に反撃し、差を詰めるが、最後まで激しい守りと多彩な攻めを展開した松山工業が、66-80で勝利した。敗れはしたが、最後まで諦めずに果敢に戦った済美平成の頑張りも称えたい。

担当者: 黒河 智史(愛媛県高体連)

愛媛県高体連



大会名称: 平成29年度
愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

開催場所: 今治市営中央体育館 Aコート

試合区分: No. 29 女子 決勝

期 日: 2018(H30)年1月28日(日)

主審: 達川 友希

開始時間: 12:50

第1副審: 金谷 純代

終了時間: 14:20

第2副審: 坂田 一也

<h1>聖カトリナ学園</h1> <p>(中予)</p>	<p>○</p> <h1>82</h1>	<p>24 - 14 25 - 17 16 - 10 17 - 11 — — —</p>	<p>●</p> <h1>52</h1>	<h1>済美</h1> <p>(中予)</p>
------------------------------	----------------------	--	----------------------	-------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	梅木 千夏	19	4	2	3	2
5	*	鈴置 彩夏	22	3	6	1	1
6	*	富永 紗代	25	0	8	9	3
7		山地 一穂	8	0	3	2	2
8		徳原さくら	—	—	—	—	—
9		森下 遥奈	—	—	—	—	—
10	*	小柳 亜結	5	0	1	3	0
11		谷 月音	—	—	—	—	—
12		浅見 妹	—	—	—	—	—
13		岩崎 鈴奈	—	—	—	—	—
14		早川 涼葉	—	—	—	—	—
15		渡邊 帆南	—	—	—	—	—
16		數田 若那	—	—	—	—	—
17	*	池松 美波	3	0	1	1	2
18		松岡 歩菜	—	—	—	—	—
HC		後藤 良太 / TEAM					—
		合計	82	7	21	19	10

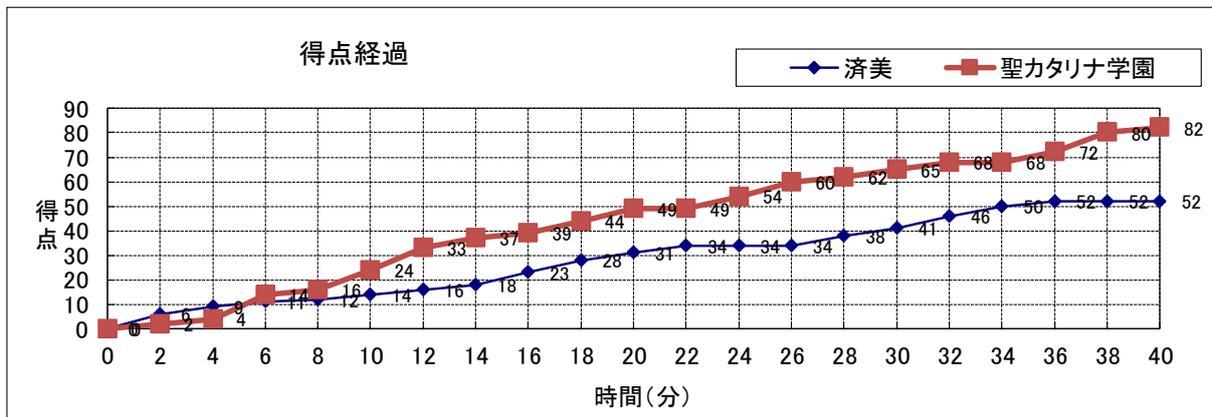
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		平原 七海	—	—	—	—	—
5		藤岡 茉裕	—	—	—	—	—
6		山口 茜	—	—	—	—	—
7		中村 結路	—	—	—	—	—
8	*	三原 愛莉	7	0	3	1	4
9		川原 美羽	0	0	0	0	1
10	*	松本みずき	20	4	3	2	2
11	*	上野 歩生	12	2	3	0	4
12		秦 優希	—	—	—	—	—
13		岡崎 芙蓉	2	0	1	0	3
14	*	田中 莉央	9	1	2	2	1
15		小川 亜子	—	—	—	—	—
16	*	水元こなつ	2	0	1	0	4
HC		中川香一郎 / TEAM					—
		合計	52	7	13	5	19

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、済美はゾーンディフェンス、聖カトリナ学園はマンツーマンディフェンスでスタート。済美は、#11のアウトサイドシュートやドライブインで得点する。対する聖カトリナ学園は、#7のバスケットカウント、#6のゴール下シュートで対抗する。徐々に聖カトリナ学園がペースを握り、14対24で聖カトリナ学園リードで第1ピリオド終了。
第2ピリオド、済美は、#10、#14を中心に加点し、流れを取り戻そうと奮闘。しかし、聖カトリナ学園は、それを許さない。速攻やリング下を上手く攻め込み、31対49で聖カトリナ学園リードのまま第2ピリオド終了。
第3ピリオド、済美は#11の1対1や#14のリバウンドシュートで加点するも、パスミスやリバウンドが取れず、流れを掴みきれない。一方、聖カトリナ学園は、ディフェンスの手を緩めず、速い展開でどんどんと加点していく。残り4分、済美はたまたまずタイムアウトを取るも、流れは変わらず、41-65で聖カトリナ学園リードのまま第3ピリオド終了。
第4ピリオド、済美は#11のアウトサイドシュートを皮切りに連続得点に成功。また、#14の果敢なリバウンドでチームを鼓舞し、流れを引き寄せる。聖カトリナ学園は、その粘りに苦しむものの、確実に得点していき、52対82で聖カトリナ学園勝利でゲームを終了した。
17年連続23回目の優勝を飾った聖カトリナ学園を祝福するとともに、両チームの健闘を称えたい。

担当者: 野澤 武尊 (愛媛県高体連)

愛媛県高体連



大会名称: 平成29年度
愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

開催場所: 今治市営中央体育館 Bコート

試合区分: No. 31 女子 3位決定戦

期 日: 2018(H30)年1月28日(日)

主審: 前田 周二

開始時間: 12:50

副審: 黒河 智史

終了時間: 14:20

<p>東温</p> <p>(中予)</p>	<p>○</p> <p>75</p>	<p>18 — 24</p> <p>24 — 10</p> <p>21 — 18</p> <p>12 — 18</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>70</p>	<p>大洲</p> <p>(南予)</p>
------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	松本 和	10	0	5	0	3
5		岡本 愛莉	—	—	—	—	—
6	*	渡部 詩音	16	1	5	3	2
7	*	坂上ここ寧	15	0	7	1	1
8	*	西岡 優	20	2	6	2	2
9		山本ほのか	—	—	—	—	—
10		井手内涼花	—	—	—	—	—
11		廣瀬いづみ	10	0	5	0	3
12		岡本 愛未	—	—	—	—	—
13		山内 結月	—	—	—	—	—
14		井上 琳瑚	—	—	—	—	—
15		烏谷 葉	—	—	—	—	—
16		山崎友里子	—	—	—	—	—
17		和田 琴花	—	—	—	—	—
18	*	豊島 李佳	4	0	2	0	2
HC		白石 竜一 / TEAM	—	—	—	—	—
		合計	75	3	30	6	13

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	原田 愛結	0	0	0	0	2
5	*	河野真菜佳	44	0	20	4	2
6		黒田 響	7	0	3	1	2
7	*	森岡佳菜恵	8	0	4	0	2
8		田中 愛海	—	—	—	—	—
9		石岡 朗佳	—	—	—	—	—
10	*	宇田 莉子	2	0	1	0	1
11	*	大政 汐里	9	3	0	0	3
12		袖岡 美悠	—	—	—	—	—
13		山口 翔蓮	—	—	—	—	—
14		森岡 莉子	—	—	—	—	—
15		岡田 菜月	—	—	—	—	—
16		谷宮 麻緒	—	—	—	—	—
17		富永 里奈	—	—	—	—	—
HC		濱田 直義 / TEAM	—	—	—	—	—
		合計	70	3	28	5	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。大洲は#5河野を中心に得点を重ねる。東温は#4松本のドライブイン、#7坂上のミドルシュートを中心に応戦。高さに勝る大洲の攻めをなんとか阻止しようと激しいディフェンスの東温。両者譲らない展開が続き24-18の大洲リードで終了。

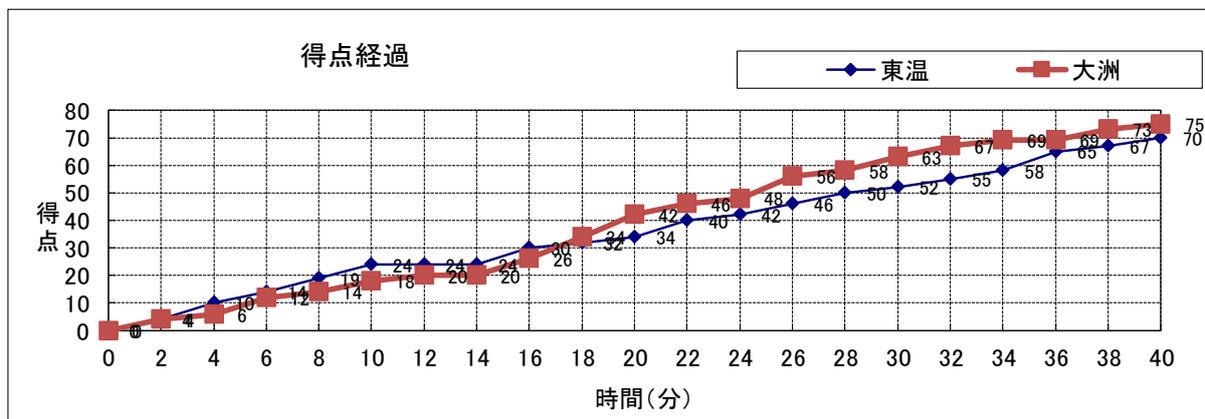
第2ピリオド、序盤は互角の勝負であったが、中盤に大洲のディフェンスの動きがやや鈍ったところをミドルシュートとドライブインで東温が一気に得点を重ねる。残り3分で逆転し、42-34で東温リードで前半終了。

第3ピリオド、東温は攻撃の手を緩めず、ドライブを中心に得点する。さらに、連続3Pも加わり流れをつかむ。対する大洲は#5河野のインサイドの攻撃で得点するが、アウトサイドからの攻めが得点に結びつかない。63-52で東温リードで終了。

第4ピリオド、中盤大洲がタイムアウトを取り、ディフェンスを2-3ゾーンに変更。大洲の#11大政の連続3Pもあり、流れが変わるかのように思えたが、落ち着いた攻撃で最後まで攻め続けた東温が75-70で勝利した。

担当者: 星加 修史(愛媛県高体連)

愛媛県高体連



大会名称: 平成29年度
愛媛県高等学校バスケットボール新人大会

開催場所: 今治市営中央体育館 Aコート

試合区分: No. 30 男子 決勝

期 日: 2018(H30)年1月28日(日)

主審: 池田 隼人

開始時間: 14:30

第1副審: 二宮 光司

終了時間: 16:00

第2副審: 川村 貴昭

<p>松山工業</p> <p>(中予)</p>	<p>○</p> <p>75</p>	<p>22 — 19</p> <p>24 — 13</p> <p>11 — 22</p> <p>18 — 6</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>60</p>	<p>新田</p> <p>(中予)</p>
--------------------------------	---------------------------	---	---------------------------	------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	仙波 洋人	13	0	4	5	2
5		高橋 聖太	8	2	1	0	4
6	*	藤岡 修也	15	0	6	3	4
7	*	池内 亮太	18	1	6	3	0
8	*	菊池 雄太	18	2	4	4	3
9		濱田 朋樹	—	—	—	—	—
10		石川駿之介	—	—	—	—	—
11		猪田 海大	—	—	—	—	—
12		近藤 航	—	—	—	—	—
13		横田 海翔	—	—	—	—	—
14		川村 宗之	—	—	—	—	—
15		岡崎 蓮	—	—	—	—	—
16		永井 敦士	—	—	—	—	—
17	*	武内 理貴	3	0	0	3	2
18		宮岡 凌	—	—	—	—	—
HC		宮崎 智之 / TEAM					—
		合計	75	5	21	18	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岡田 有夢	5	0	2	1	5
5		塩田龍之介	4	0	2	0	3
6	*	平岡 遥斗	12	2	3	0	4
7	*	井伊剣士郎	5	1	1	0	2
8	*	今井新ノ将	16	4	2	0	4
9		池田 晃紳	—	—	—	—	—
10		濱本 康成	—	—	—	—	—
11		村上 翔	0	0	0	0	0
12	*	上野 大翔	10	0	3	4	2
13		中川 拓人	2	0	1	0	0
14		片岡慎之介	—	—	—	—	—
15		吉田 雄登	0	0	0	0	0
16		大原 海	6	2	0	0	2
17		栗林 大貴	0	0	0	0	0
18		真鍋 歩夢	—	—	—	—	—
HC		玉井 剛 / TEAM					—
		合計	60	9	14	5	22

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームともマンツーマンでスタート。序盤、松山工業は速いパス回しから得点を重ねる。一方新田高校も果敢に攻めるがシュートが決まらない。7-14となったところで、新田たまたまタイムアウト。その後、新田の#6、#7が連続で3Pを決め点差を縮める。一進一退の攻防のまま、19-22と松山工業3点リードで第1ピリオドを終了。

第2ピリオド、松山工業は#4を起点に外、中とバランスよく得点を重ねて行く。新田も得点を伸ばしていきものの、徐々に松山工業が点差を広げて行き、32-46と松山工業が14点リードで、前半を終える。

第3ピリオド、序盤、新田は連続3Pで流れを掴み、一気に点差を詰める。たまたま松山工業はタイムアウトを取り、流れを変えようとするが、その後も新田が点差を詰めて54-57の松山工業3点リードで第3ピリオドを終了。

第4ピリオド、松山工業はオールコートマンツーマンデフェンスでプレッシャーをかける。新田も厳しいデフェンスで両チームとも簡単に得点できない。その後も一進一退の攻防が続いたが、勝負どころで松山工業#4が得点を重ね、75-60で松山工業が2年ぶり8回目の優勝を果たした。

担当者: 山内 良馬(愛媛県高体連)

愛媛県高体連

